

カネミ油症患者に関する施策の進捗状況について

【三者協議】（参考 1）

カネミ油症患者に関する施策の推進に関する基本的な指針に基づき、国、カネミ倉庫株式会社及びカネミ油症患者による三者協議が設置され、平成 25 年 6 月 21 日に第 1 回、平成 26 年 1 月 15 日に第 2 回が開催された。

【認定患者数（平成 25 年 12 月末現在）】（参考 2）

平成 25 年 12 月末現在の認定患者数は、2,246 人。そのうち、同居家族認定の数は、264 人。

【平成 26 年度予算案】（参考 3）

健康実態調査の実施に要する経費（4.3 億円）と油症治療研究に要する経費（2.1 億円）については、ほぼ前年と同額の予算案となっており、必要な予算を確保している。

【健康実態調査】（参考 4）

（平成 25 年度）

平成 25 年度は、関係自治体にご協力頂き、平成 25 年 5 月末時点で把握している認定患者数 1,590 名のうち、1,406 名の方々に回答頂いた。

健康調査支援金（19万円）の支払いについては、ほぼ全ての自治体で完了している。

なお、調査結果については、年度内にとりまとめ、その後速やかに厚生労働省のホームページ等で公表予定。

（平成26年度）

平成26年度の実態調査については、予算成立後速やかに実施し、年内目途に集計結果を公表できるよう調整している。

【健康調査支援金等の生活保護制度上の取り扱い】（参考5）

平成25年6月28日に健康調査支援金及び一時金の残余等については、「生活保護法による保護の実施要領について」（昭和36年4月1日厚生事務次官通知）の「災害等によって損害を受けたことにより臨時的に受ける補償金、保険金又は見舞金」に該当する旨の通知を発出した。

【カネミ倉庫による一時金等の支払い状況】（参考6）

カネミ倉庫は、直近の正確な患者情報を把握できていないため、関係自治体等を通じて、カネミ倉庫に患者名簿を提供して頂き、カネミ倉庫は、平成25年12月末時点で、1,407名のカネミ油症患者に一時金等の支払い（一人5万円）を行った。

【油症検診】（参考7）

平成24年度は、661名（うち未認定者252名）、平成25年度は、739名（うち未認定者165名）が検診を受診。

【医療従事者向けパンフレットの作成】（参考8）

医療従事者へのカネミ油症の啓発のため、平成25年度の油症治療研究班において、患者団体の意見を踏まえ、パンフレットを作成した。今後、厚生労働省のホームページや関係自治体を通じた医療機関等への周知に活用する予定。

【日本医師会への協力依頼】（参考9）

同居家族認定の申請に必要な医師の意見書の作成について、日本医師会に対し、協力依頼の通知を発出した。